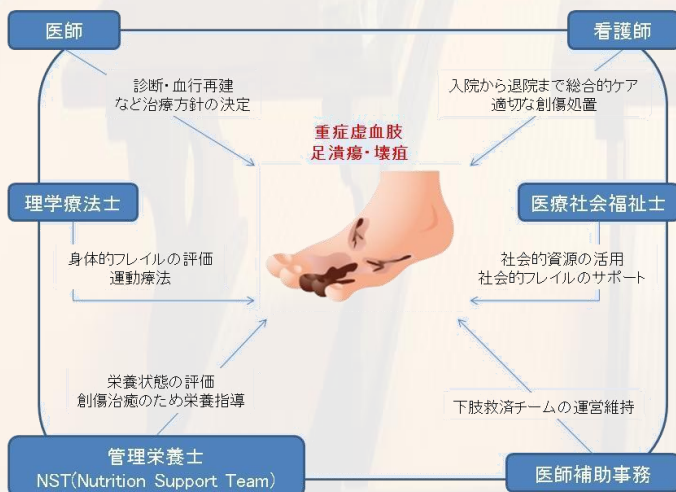


き ず 京都創傷の寺子屋セミナー ～ みんな困ってます、下腿・足の創傷 ～

開催日時： 2025年1月31日

参加費：¥ 1,000

開催場所：株式会社 増田医科器械 8階会議室
〒612-8443 京都府京都市伏見区竹田藁屋町50



糖尿病性足潰瘍の病態分類 神戸分類

タイプⅠ	末梢神経障害主体 ・血行障害なし →フットウェア優先
タイプⅡ	末梢血管障害主体 ・重症下肢虚血あり →血行再建術優先
タイプⅢ	感染主体 ・軟部組織感染症や骨髄炎あり →デブリードマン優先
タイプⅣ	複合病態 ・感染を伴った重症下肢虚血 →症例に応じて血行再建術と デブリードマンの優先度を決定



き ず
京都創傷の寺子屋

《 今セミナーの狙い、意義 》

2026年、初めての京都創傷(きず)の寺子屋セミナーです。今回のテーマはみなさんが日頃より悩み、格闘していると思われる下腿、足の創傷です。

褥瘡が出来る部位は比較的血流の多い場所が多いのであまり血流に関して考慮する事はないかもしれませんが、下腿、足の創傷、潰瘍は動脈、静脈にかかわらず血流の評価が重要で、この評価が治療への一丁目一番地になります。通常の創傷では創傷の評価さえ出来れば、適切な処置を継続することで創治癒に向かいます。反対に下腿、足の創傷では血流の評価が出来た上で、創傷の評価ということになりますので、評価が2段構えになるところに、治療の難しいところがあります。ただ、みなさんは評価の仕方などを知らないだけです。難しい知識は必要ありませんので、このセミナーで理解していただき、日頃の悩みの解決に役立て、最終的には患者さんのお役に立てて頂ければ嬉しく思います。

京都創傷の寺子屋 代表 村上啓司

【京都創傷の寺子屋とは】

我々の法人を知らない方々へ少し自己紹介をさせてください。

京都創傷の寺子屋とは、2021年3月に有志が集まって発足した、創傷に特化した活動を行うNPO法人です。発足以来セミナー、講習会などを行ってきました。

我々の行っているセミナーはハンスオン、実践演習中心のセミナーです。今でこそ何処でも行われるようになっていますが、その先駆けだと自負しております。

セミナー前半は講義形式で最低限の知識を頭に入れてもらい、後半は多くの時間を使って、ハンスオン、実践演習を行って、講義で得た知識を今日から、今から現場で使える知識にしてもらえるようにという流れで行っています。

コロナ禍以降、流行（はやり）のwebセミナーでは出来ない実践演習なので、知識技術の定着もしやすいと考えております。

セミナーのテーマは創傷に関する基本的なことから創傷関連の最新のトピックスまで幅広く扱っておりますので、皆さんが必要とするテーマの回で参加して頂ければと思います。

お申し込み方法

右のQRコードを読み取って頂くと、Peatixでの申し込み画面が表示されます。内容を確認の上、必要事項を記入の上、お申し込み下さい。ご不明点などございましたら、下記に問い合わせください。



お問い合わせ
京都創傷の寺子屋
Mail : kizunoterakoya@gmail.com